

ATTO少液量(500 μ L)をろ過するろ過用品

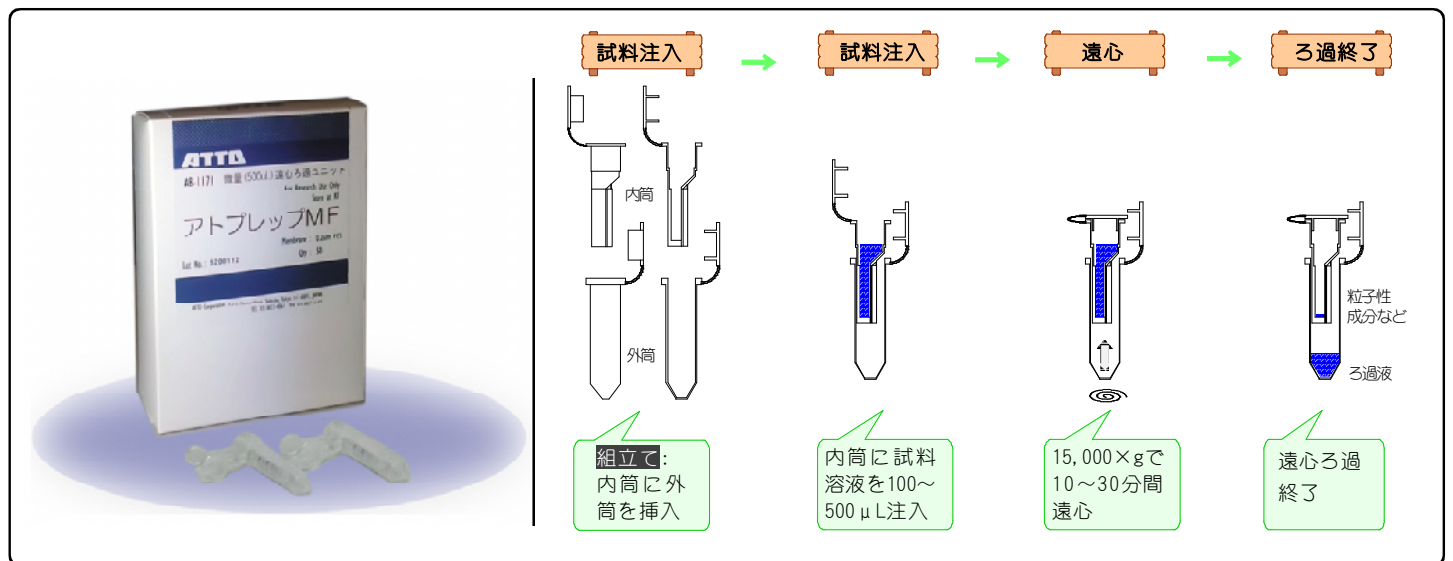
AB-1171型

アトプレップ MF

少液量(500 μ L)をろ過する遠心ろ過用品

製品の概要

100~500 μ Lの小液量に対応。粒子や不溶性物質を簡単に遠心ろ過。ろ液は電気泳動試料・クロマト試料などに利用可能。



価格 ¥20,000 /50個

特長

- ①少液量試料を遠心力で簡単ろ過
- ②孔径0.2 μ mのろ過膜により、粒子性成分(ゲル)を除去
- ③5,000~15,000 \times gの遠心で、短時間(5~30分程度)にろ過終了
- ④吸着が少なく、ね詰まりしにくく、広範囲のpHに使用できるPES膜を採用
- ⑤膜を垂直にはり有効面積を最大に利用

仕様

- ①名称 アトプレップMF
- ②型式 AB-1171型
- ③製品番号 3521370
- ④適用容量 500 μ L
- ⑤耐用加速度 15,000 \times g
- ⑥ろ過膜材質 PES(ポリエチレンスルホン)
- ⑦ろ過膜孔径 0.2 μ m
- ⑧遠心ロータ 1.5mL遠心管用

電気泳動と51年

Since 1964
ATTO
Made in Tokyo
Supporting Life Research

「アトプレップMF」について

膜: 使用している膜はPES(ポリアリルサルホネート)という素材で、親水性・疎水性のいずれの相互作用もなく、目詰まりしにくく、高流量で、広範囲のpHに使用できる特性をもっています。この膜を垂直方向にはることで、粒子の多い溶液でも高速ろ過が可能です。

回収率: 回収率は、初期濃度0.1mg/mLの試料が通常濃縮後**90%以上**回収されます。(BSAでは約96%)

溶液残量は5 μ L以下です。

試料のロス、主に膜と容器のプラスチックの結合部位への非特異的吸着が原因です。回収率を重要視する場合は次のような方法もあります。

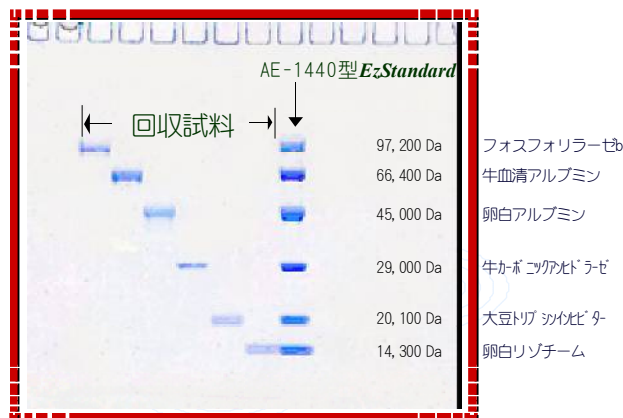
・初回回収後、数的の溶液を加え、さらに容器を洗浄するようにして再回収をします。

・5%SDS、Tween20、TritonX100の溶液に一晩を浸けておき使用前にすすいでから使用する。

応用例：泳動後、ゲルからタンパク質成分を回収

電気泳動分離後、バンドを切出し、スラリー化後、AB-1171型アトプレップMFを用いてタンパク質成分を回収します。その後、回収確認の為、再電気泳動したものです。

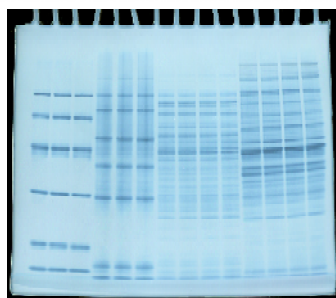
- ①試料 AE-1440型 *EzStandard* 分子量マーカー
- ②ゲル パジエル NPG-1020L 既製ゲル
- ③染色 AE-1310型 *EzStain Reverse* リバース染色キット
- ④溶出 バンド切出し後、磨り潰し、バンド成分を溶出
- ⑤濾過 AB-1171型アトプレップMFで遠心ろ過、回収
- ⑥再泳動 回収液を、試料として再び電気泳動



実験コストダウンをATTO 高性能・高品質試薬で！

リバース染色キット AE-1310 *EzStain Reverse* イージーステイン・リバース(2332350) 価格¥16,000

(SDS-)ポリアクリルアミドゲルのバックグラウンドを白濁させ、タンパク質成分を検出するネガティブ染色キット



リバース染色像

※黒色背景で撮影しています

製品の特長

- ・SDS-PAGEなどポリアクリルアミドゲル電気泳動法に対応
- ・感度はタンパク質濃度ng/band(クマシーの数倍~10倍)
- ・検出時間20~25分間 短時間で検出
- ・タンパク質バンドの切り出し回収可能

製品の仕様

形態	R-1、2各溶液500mL/ポリエチレン容器
主成分	R-1 イミダゾール、ドデシル硫酸ナトリウム R-2 硫酸亜鉛
適用枚数	約90×80mm(ミニゲル)で50枚
有効期間	室温遮光にて2年間

資料

ATTO HP よりダウンロードください

「リバース染色とアトプレップによるタンパク質回収」